

ISUZU

HONDA

2023年12月22日
いすゞ自動車株式会社
本田技研工業株式会社

いすゞと Honda、燃料電池大型トラックの公道実証走行を本日より開始

いすゞ自動車株式会社（本社：神奈川県横浜市、社長 COO：南真介、以下「いすゞ」）と本田技研工業株式会社（本社：東京都港区、取締役 代表執行役社長：三部敏宏、以下「Honda」）は、両社の共同研究による燃料電池（FC）大型トラック「GIGA FUEL CELL」の公道での実証走行を本日より開始します。2024年9月までの本実証実験を通じて、2027年の市場導入へ向けたデータの取得、知見の蓄積、技術的課題の抽出などを進めます。

なお、今回の実証走行では、「JAPAN MOBILITY SHOW 2023（ジャパンモビリティショー）」のいすゞグループのブースで展示されたものと同型の試作車両を使用します。



公道実証走行を前にテストコースを走る GIGA FUEL CELL

1. 目的

このたび、いすゞ・Hondaそれぞれの物流グループ会社であるいすゞロジスティクス株式会社（以下「いすゞロジスティクス」）と株式会社ホンダロジスティクス（以下「ホンダロジスティクス」）の協力を得て、公道での実証走行を行うことで、水素燃料活用の可能性と燃料電池車両の実用性を検証します。

2. 背景

いすゞと Honda は、高効率輸送（長距離走行・高積載量・短時間での燃料供給）が求められる大型トラックのカーボンニュートラル化において、CO₂排出ゼロの水素を燃料とする FC 技術が有効であると考えています。

両社は、2020年1月にFC大型トラックの共同研究契約を締結。FCの大型トラックへの適合性の検証や、車両制御など基礎技術基盤の構築を進めており、2027年をめどに共同研究で得られた技術や経験・知見を最大限に生かした量産車両の市場導入を予定しています。

3. 実施概要

期間： 2023年12月～2024年9月（予定）
場所： 関東近郊（栃木・埼玉・東京・神奈川の1都3県を予定）
事業者： いすゞロジスティクス、ホンダロジスティクス
使用台数： 1台

4. 主な検証内容

< 実用面 >

- 荷役作業や公道走行による車両実用性の検証
- 水素充填を含めた車両運行管理

< 車両開発 >

- FC大型トラックの市場適合性

■ GIGA FUEL CELL 車両概要

車両	ベース車型	CYJ77C-WX 低床4軸8×4
	全長/全幅/全高	11,980mm / 2,490mm / 3,770mm
	車両総重量	25t
燃料電池スタック	種類	固体高分子形（Honda燃料電池スタック）
	出力	103kW×4
高圧水素システム	充填圧力	70MPa
	搭載水素量	56kg
電動機（モーター）	種類	交流同期電動機
	出力	定格 320kW
高電圧バッテリー	種類	リチウムイオンバッテリー
航続距離		800km以上（いすゞ評価モード）
その他装備	外部給電ポート	2ポート（CHAdeMOコネクタ） 最大電力供給量 530kWh

■ 会社概要

いすゞロジスティクス株式会社

本社： 神奈川県横浜市西区高島一丁目 2 番 5 号 横濱ゲートタワー6 階

事業内容： 物流統括／管理

株式会社ホンダロジスティクス

本社： 東京都千代田区一番町 6 番地 一番町 SQUARE 4 階

事業内容： 陸上・海上輸送(完成車・部品)、梱包、保管、部品納入代行、
二輪・四輪 SUB-ASSY 業務、物流機器商品開発・販売、
システム開発、航空貨物代理店、通関業、引越、その他